

商品名 スルペラゾン静注用1g 医薬品基本情報

薬効	6139 その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	一般名	セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム静注用
英名	Sulperazon	剤型	静注用
薬価	307.00	規格	(1g) 1瓶
メーカー	ファイザー	毒劇区分	

スルペラゾン静注用1gの効能・効果

感染性心内膜炎、敗血症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、咽頭炎、急性気管支炎、喉頭炎、膿胸、肺炎、肺膿瘍、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、腎盂腎炎、胆管炎、胆嚢炎、バルトリン腺炎、腹膜炎、膀胱炎、腹腔内膿瘍

スルペラゾン静注用1gの使用制限等

- 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴
記載場所 使用上の注意
注意レベル 禁止
- 類薬で過敏症の既往歴
記載場所 使用上の注意
注意レベル 原則禁止
- 類薬で過敏症の既往歴、アレルギーの家族歴、気管支喘息の家族歴、蕁麻疹の家族歴、発疹の家族歴、アレルギーを起こし易い体質、気管支喘息を起こし易い体質、蕁麻疹を起こし易い体質、発疹を起こし易い体質、経口摂取の不良、全身状態の悪い、非経口栄養、高度腎機能障害、高度肝機能障害
記載場所 使用上の注意
注意レベル 注意

スルペラゾン静注用1gの副作用等

- ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、アレルギー反応に伴う急性冠症候群、急性腎障害、重篤な腎障害、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、発熱、咳嗽、胸部X線異常、好酸球増多、間質性肺炎、PIE症候群、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、溶血性貧血、汎血球減少症、顆粒球減少、無顆粒球症、血小板減少、重篤な血液障害、劇症肝炎、重篤な肝炎、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、肝機能障害
記載場所 重大な副作用
頻度 頻度不明
- 黄疸
記載場所 重大な副作用
頻度 0.1%未満

3. 痙攣、ビタミンK欠乏症状、低プロトロンビン血症、出血傾向、ビタミンB群欠乏症状、舌炎、口内炎、食欲不振、神経炎、低血圧、血管炎、注射部静脈炎、注射部痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 過敏症、発疹、斑状丘疹性皮疹、そう痒、赤血球減少、血小板増多、白血球減少、好酸球増多、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、ビリルビン上昇、下痢、軟便、悪心、嘔吐、発熱	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 蕁麻疹、紅斑、貧血、菌交代、口内炎、カンジダ症、頭痛、血尿	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 急性腎障害、重篤な腎障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 溶血性貧血、汎血球減少症、顆粒球減少、無顆粒球症、血小板減少、重篤な血液障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 劇症肝炎、重篤な肝炎、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 出血傾向、痙攣、神経系副作用、血管痛、血栓性静脈炎、精巣萎縮、精子形成抑制	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

スルペラゾン静注用1gの相互作用

1. 薬剤名等：アルコール		
発現事象	ジスルフィラム様作用<潮紅・悪心・頻脈・多汗・頭痛等>	投与条件 -
理由・原因	テトラゾールチオメチル基が、肝におけるエタノールの分解を阻害することで、血中アセトアルデヒドの蓄積	指示 禁止
2. 薬剤名等：利尿剤		
発現事象	類似化合物<他のセフェム系薬剤>との併用により腎障害増強作用	投与条件 -
理由・原因	利尿剤による脱水等で尿細管細胞へのセフェム薬の取り込みが亢進し、腎毒性を発揮	指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.